



銚子ジオパーク市民の会ニュース

屏風ヶ浦 (銚子市)

第116号

2022年1月27日発行

発行責任 工藤 忠男

銚子ジオパーク市民の会

URL: <https://choshigeopark.com>



あけましておめでとついでいいます
銚子ジオパーク市民の会 会長 工藤 忠男

銚子ジオパーク10年目の新しい年がスタートしました。昨年コロナ禍の影響が大きく、ガイドも市民の会の活動も思うようにできない年でした。また安心は出来ませんが、細心の注意をして活動します。学習支援 観光ガイド、海岸清掃、市民の会勉強会も復活しました。

学習支援については、市内の小学校6年生全員は勿論の事、最近小学校5年生に加え中学校や市外の多くの学校も参加するようになりました。屏風ヶ浦を中心に、犬岩、余山貝塚も含めて、市民の会の認定ガイドが案内しました。観光ガイドも最近旅行会社の団体が多くなってきました。学習支援とは違ったガイドですが、お客様は銚子を楽しんでください。市全体がジオパークのエリアで、それをジオパーク推進協議会事務局が観光資源として活用で

きるように、素晴らしいものに磨いてくださっています。それを市民の会がお客様にどのように伝えるのが課題です。

SDGsの中に「海の豊かさを守ろう」というものがあります。海岸清掃の現状としてプラスチックごみは依然として多いのですが、銚子ジオパークから海を守る活動を発信出来たら、素晴らしいと思います。

勉強会は、伊勢崎翼先生の「田中玄蕃からみた銚子の歴史」をしました。次の企画も期待してください。

最後に、銚子ジオパークには大切ですが、市民の皆さんがジオパークとどう関わっているかが大切だと思います。ジオパークは「人」だと思います。今年も今までの市民の会の活動をより充実させて、頑張っていきたいと思います。

クラブツーリズムの「冬だからこそこの絶景！屏風ヶ浦から見る今年最後の夕日と日本一早い初日の出鑑賞！成田山新勝寺で初詣！2日間」のツアーのガイドを、伊藤さん、加瀬さん、白土さんと共にしました。

バスの添乗員さんと3カ所(外川の町並み・犬岩・屏風ヶ浦)の案内時間を再確認した後、22名のお客さんを2班に分けて外川から案内を開始しました。崎山次郎右衛門が築いた外川の漁港と外川の町並み、銚電の正統12年に建てられた外川駅舎などの散策を楽しんだ後は犬岩へ。

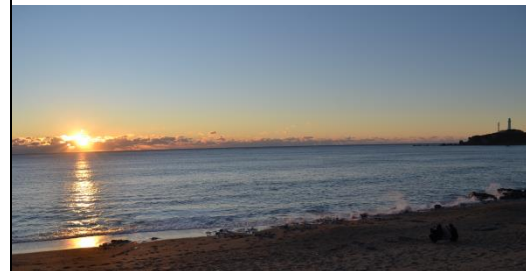
犬岩の特徴である2億年前に出来た付加体であること等、わずか15分ほどで説明しました。犬岩のできる方の紙芝居も皆さんに喜んで頂けましたが、太陽は残念ながら雲に隠れてしまいました。

大晦日に今年最後の夕日をガイド 藤身 隆雄

最後の目的地屏風ヶ浦に移動。この時点で海に沈む夕日は絶望的でした。

残り少ない時間で屏風ヶ浦を説明している時、なんと海の上の一部分が赤く染まり始めたのです。感動的なその光景に説明はストップ。皆さん大感激でした。わずかな時間でしたが、お客さんには寒い中銚子まで来られた甲斐があったのではないのでしょうか。

バスを見送って車に戻ると、茂木さんがねぎらいの言葉をかけてくれました。大晦日にガイドをやってよかったとつくづく思いました。



2022年の初日の出 右手に犬吠埼灯台 藤身さん撮影

霜と霜柱 隠居師 銚子の初霜は 2021年12月14日に観測

M子..もう何十年も霜を踏んでいないあく朝、土の上をサクサク、気持ち良い音をたてた記憶があるよ。

隠居..あつ！それは霜ではなく、霜柱だね。

M子..えっ！そうなの？

隠居..霜はね、0℃以下まで冷やされた空気中の水蒸気が地面や植物などに付着する氷の結晶なんだよ。

M子..氷の結晶では踏んでも音はしないね。

霜柱はなぜ音がするの？

隠居..霜柱は地表が凍り、そこから凍っていない土の中の水分が地表に向かって吸い上げられ毛細管現象、吸い上げられた水も凍り、地表の水を押し上げる。それが繰り返され上へ上へと水の柱(霜柱)ができるんだね。

M子..サクサクしたのは、氷の柱を踏む音だったんだね。

隠居..関東ローマ層は霜柱ができやすいので、楽しむといいよ。

